

☆千葉・第7回ふれあいコンサート—いっしょにとばそう しあわせのたね 12日、県教育会館大ホール（13時開演）ときぼーる1階のアトリウム（11時開演）。

障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しんでもらおうと毎年開かれている恒例のコンサート。特別支援学校の元教諭らでつくるNPO「ちば特別支援教育」の主催。

両会場に出演するのはダウン症があるリコーダー奏者・荒川知子さん(33)＝千葉市出身＝と、フルート奏者の父健秀さん、ピアノ教師の母幸子さんによるファミリーアンサンブル。「ソレアード」「朝の月」「スタンドアローン」などを演奏する。ファミリーとジョイントするのは県立千葉特別支援学校卒業生の保

護者らで作る手話サークル「ぽんぽこたぬき」。他にダウン症のダンス集団「スリー・セブン」などが出演。無料会場のきぼーるには、ジャズバンドの「出光興産サンライズファミリー」が初めて参加する。

実行委員の西川信明さん(69)は「街行く人にも楽しんでもらおうと始めたまちかどコンサートも好評で年々来場者も増えている。音

楽の力で『心のバリアフリー』を目指したい」と話している。

県教育会館は全席自由で500円。チケットは、住所、氏名、電話番号を明記し、ファクス(043・201・0575)か、ちば特別支援教育ホームページのチケット購入フォームから申し込む。5日締め切り(当日券あり)。問い合わせは西川さん(090・2520・3513)。

【渡辺洋子】



昨年のまちかどステージに出演した「荒川知子とファミリーアンサンブル」＝NPOちば特別支援教育提供